子宮がん検診の注意事項

※自覚症状がある方は集団検診に適しません。必ず医療機関で受診してください。

※次の方は、受診の可否をご確認ください。

種別	対象者	受診の可否	理由
子宮	体重135kg以上の方	**受診しないでください**	検診台の問題から受診できません。
	妊娠中の方		受診中の医療機関でお受けください。
	1か月以内に子宮内膜掻爬術を受けた方、または流産後１か月以内の方		直後は異型細胞とよく似た細胞が出るため、子宮がん検診の判定に適した細胞を採取することは困難な時期です。
	子宮摘出された方	**受診をお勧めしません**	対象とする器官（子宮）がないため、子宮がん検診は必要ありません。出血・おりもの等の自覚症状のある方は、婦人科を受診してください。
	性交渉の経験のない方		現在のところ、子宮頸がんの原因は99%ヒトパピローマウイルスの感染と考えられており、ヒトパピローマウイルスは性交渉によって感染します。よって、性交渉の経験のない方の子宮頸がん検診の必要性は極めて低いと思われます。
	避妊器具または骨盤臓器脱用リング挿入中の方		避妊器具または骨盤臓器脱用リング挿入中は定期検診が必要なため、挿入した医療機関での受診をお勧めします。
	出産後の方		出産後２か月以降の受診は可能ですが、月経再開後が望ましいです。
	生理中の方	**受診できる場合もあります**	月経血量が特に多くないときは、受診できます。